

# 人権だより 32号 ふれあい



発行 令和5年10月  
真備中学校区  
人権学習推進委員会  
事務局 倉敷市真備公民館  
倉敷市真備町箭田1685  
TEL 086-698-0042

## 合同研修視察

4年ぶり  
実施

### 岡山市人権啓発センター

淡島一揆資料館・岡山城 令和5年9月10日(日)

4年ぶりに真備中学校区と真備東中学校区合同の研修視察に行くことができました。まず、岡山市人権啓発センター岡田秀徳先生の「淡島一揆に学ぶ」の講話を聞きました。ユーモアを交えながら分かりやすく丁寧に説明をしてくださいました。淡島一揆を初めて学ぶ方、中学生の時に一度学んだ方、過去に何度か研修を受けたことがある方等、参加者の一揆についての認知度はさまざまですが、嘆願書を作り、武器を持たない、「人間の尊厳」をかけた平等を求める闘いであったことを学びました。その後、淡島一揆資料館に移動し、一揆にまつわる数々の展示品を見学しました。午後からはリニューアルされた岡山城を見学し、帰路へと向かいました。



### 参加者の感想

- 一番感じたことは、人々が暴徒化することなく、人間の尊厳を守るために、命をかけて熱く、しかし冷静に嘆願されたという点です。意に沿わなければ他国に戦争をしかけたり、身近な人や不特定多数の人を傷つけたりする事件が現実に起きています。とても嘆かわしく、結果的にそれを生み出している社会や世の中をこのままにしてはおけないと感じました。
- 同和教育が人権教育となって久しいですが、今でも学ぶべき歴史だと思います。
- 一揆と名がついているので武陵鬪争と思っていたが、人間としての誇りをかけた闘いでした。武器を持たず決死の覚悟で立ち上がった人々もそうですが、訴状を受け取り、合議した家老側も人としての力量を感じました。

# 第1回 人権教育講演会 令和5年9月30日(土)

誰一人置き去りにしない教育を求めて  
～岡山自主夜間中学校から見えてくること～

一般社団法人岡山に夜間中学校をつくる会 理事長  
しろのうち のぶひと  
**城之内 庸仁 先生**



平成30年4月、さまざまな事情で義務教育を十分に受けられなかった人のために「学ぶことはよりよく生きること」という信念のもと、「岡山自主夜間中学校」を設立されました。講演会では、設立の経緯、現状、課題についてお話を聴きました。熱意をもって学び直しをする人たちに寄り添って奮闘されている先生に感銘を受けた受講者も多かったと思います。

## 参加者感想

- ・学び直したいという気持ちの切実さを感じました。人間の尊厳を取り戻す場、夢を取り戻せる、安心して過ごせる夜間中学校の存在のすばらしさ、大切さがよく分かりました。存続の厳しさを知り、微力ながらでも何かお手伝いできたらなど感じました。
- ・なんとなくでしか知らなかった夜間中学、どういうものか、どんな人が必要としているのか、学校を運営していくうえで大変なこと、本当に分かりやすく教えていただき、心をも動かされるようなお話をでした。まだまだ子育て中の私には考えさせられる内容でした。



## 第2回人権教育講演会のお知らせ

**日時** 令和6年1月14日(日)

13:00~14:30

**場所** 真備公民館 大集会室

**演題** 音楽は心のビタミン

～免疫力アップのために～

**講師** 岡山県健康づくり財団保健部附属診療所副所長

**岸本寿男氏**

※ 入場無料 当日受付可能ですが、人数把握のための参加を希望される方は真備公民館へできるだけ事前にご連絡ください。



## 二万小学校 PTA 人権教育講演会

演題：「デジタル時代の人権を考えよう」

講師：株式会社 compallet・代表 桐野 志摩美 先生

令和5年6月24日(土)、二万幼稚園と合同でPTA人権教育講演会を実施しました。今年度は、近年、インターネットに関わる問題がどんどん低年齢化している中で、問題に対する意識を高め、未然防止を図ることをねらいとして、話をしていただきました。保護者からは、「進んでいくデジタル社会の中で、保護者として何に配慮し、何を共有するべきか改めて考えさせられた。」「ネットとのつき合い方について一方的に押し付けるのではなく、子どもによく考えさせることが大切だと思った。」等の感想が寄せられ、意識の高まりを感じました。SNSとの向き合い方やルール作りについて考えるよい機会となりました。



## 倉敷まさび支援学校 奉仕活動

令和5年9月6日(水)、倉敷まさび支援学校高等部の生徒の皆さんのが、真備公民館へ清掃活動に来てくださいました。毎年、現場実習の一環として、公民館の清掃を行っています。

今回は、2年生と3年生の8名で窓を中心に清掃しました。去年から引き続いて活動している生徒は慣れたもので、手際よく作業を進めていました。初めての生徒も、先生や上級生の指示を受けながら、2時間の作業を一生懸命にして、丁寧に取り組んでいました。いつも感じますが、年季の入った公民館が、清掃を終えた後は、明るくなったように感じられます。それは、清掃されいになっただけではなく、気持ちを込めて活動している生徒の姿がそのように感じさせているのではないかと思います。

生徒の皆さん、ありがとうございました。



# ふれあいと交流のまちづくり

令和5年6月4日(日) 役員会、部会(研修部・啓発広報部)、総会 開催

役員会、研修部会・啓発広報部会に続いて総会を開きました。「西日本豪雨を乗り越え、5年目を迎えることができた。人権についても各学校園等で前向きに取り組み、また、新型コロナも乗り切ってきた。今年一年もよろしくお願ひしたい。」と、土屋会長のあいさつで総会が始まりました。本年度から従来通りの総会の形に戻すことができ、新しく推進委員になられた方も多く、一人



ずつ自己紹介をしました。

協議では、令和4年度事業報告、決算報告及び令和5年度事業計画、予算等について審議し、賛成多数で可決承認されました。会の終わりには、研修会や講演会等への積極的な参加をお願いしました。推進委員の取組により、人権学習推進事業が一層地域に浸透し、人権を尊重し合う明るく住みよい地域づくりへつながっていくことを期待しています。



令和5年5月24日(水)合同事務局会開催

人権作文、人権ポスター・標語、のぼり旗のデザイン募集、人権講演会等、本年度の事業推進についての確認をしました。



人権を尊重し合う、  
明るく住みよい地域

令和5年度 真備中学校区 人権学習推進委員会 役員・部員・委員（敬称略）

役 員	(会長) 土屋 瞳、(副会長) 三宅 健次・小山 治子、(監査) 武政 和茂・水川 誠
啓発・広報部会	(部長) 神崎 均、(副部長) 井上 桂一、百本 恵子、高槻 素文、野田 俊明、岡田 春枝
研修部会	(部長) 守屋 俊憲、(副部長) 蟹田 純司、岡本 加世子、福長 輝、妹尾 鈴子、高槻 美枝
委 員	井上 瞳、土師 愛香、水川 美樹、田淵 章、植田 莉那、長谷川 瞳美、田渕 太士、山下 由加 岸本 弘、蜂谷 真治、川井 久美子、多田 伸志、松田 文恵、松枝 徹、酒質 節子、松永 喜樹、 原 正男、江口 知栄子、石橋 素子、福田 知子、三村 美紀、梶谷 淳子



事務局員

山田 洋一 (真備陵南高等学校)	本多 卓郎 (事務局長・館長)
丹生谷 一代 (倉敷まきび支援学校)	岡田 直利 (社会教育啓発指導員)
藤原 知佐子 (真備中学校)	田中 克徳 (玉島公民館・啓発指導員)
芳本 真央 (二万小学校)	河上 順子 (指導員・庶務)
笹井 陽介 (箭田小学校)	荻原 節子 (指導員)
中塚 雅子 (吳妹小学校)	坂本 秀子 (指導員)